

## 新たな森林管理システムの運用に向け、市町林務担当者と意見を交換

平成 31 年 1 月 10 日  
徳島森林管理署

四国林政連絡協議会出席のため来県した林野庁計画課の三間課長補佐(森林管理集積班)が、1月9日、4月から運用される「新たな森林管理システム」について、市町村の林務担当者等と運用に向けた課題について意見交換を行いました。

意見交換には、林野庁の外に阿南市、神山町と徳島県、徳島森林(もり)づくり推進機構、四国森林管理局、徳島森林管理署が参加し、冒頭、三間課長補佐から、新たな森林管理システムと森林環境譲与税(仮称)の現状についての説明がありました。その後、阿南市、神山町から森林所有者への意向調査、森林環境譲与税の使途、基金条例、支援態勢など、多岐にわたる意見が出されました。



現状について説明する林野庁三間課長補佐

市町から出された意見は、「森林環境譲与税の使途について、財政部局と意見の相違がある。」、「森林環境譲与税の使途に苦慮している。」、「意向調査の進め方に不安がある。」、「専門的な職員不足の現状からして、新たな森林管理システムを進めて行く支援態勢が急務。」などでした。徳島森林管理署では、市町村からの意見を踏まえ、引き続き、更なる関係市町村からの意見収集に努めるとともに、国有林だからできる支援に取り組んでいきます。



課題について意見を述べる神山町鳥庭係長

午後には昨年、徳島県内に甚大な被害をもたらした H30.7 豪雨災現場の一つである三好市山城町白川地区視察のため移動し、徳島県森林整備課、徳島県西部総合県民局からの災害状況説明、徳島森林管理署からドローンを活用した災害復旧活動支援について説明を行いました。



三好市山城町白川地区の災害現場を視察